

**目的**

市民活動団体等のマネジメント力をあげて、地域課題解決の効果をあげる。

**趣旨**

市民活動団体等が活動をしていくための人や資金が集まらない、活動がなかなか周知されず広がらない、団体を運営していくために必要な実務が分からないと言った悩みを抱える団体、またこれから、市民活動を行ってみたいとう人を対象に運営基盤の強化を支援するため連続講座を開催する。

**対象**

活動を行ってみたい人から、市民活動団体まで全てを対象とする。

**効果**

第1 講座

つながりの大切さを学び、お互いを知ることによって今後の活動に活用できる状態にする。

第2 講座

自分たちの住む地域、また地域外の資源も三原市の資源であることを知り、それに加え自分たちの活動も地域の資源であり、それらを効果的に発信することができる状態にする。

第3 講座

資金だけが継続のポイントではなく、人・物・金が大切なことを学び、活動を継続するための助成や、ネットワークの重要性が理解できる状態にする。

第4 講座

他団体の活動報告からノウハウを学び、情報交換や仲間づくり等ができた状態にする。

## 第1講座

日時	1月19日(土) 9:30~11:50
場所	城町庁舎
テーマ	協働とは(入門編)
目的	地域を活性させるためには協働が必要という思いを深め、つながりを求める気持ちを高める。
内容	①講演 ②グループワーク 自分たちの活動や思いを発表し課題などを共有しつつ、つながりを深める。
講師	広島市立大学 国際学部 准教授 金谷 信子(かなや のぶこ) ----- 兵庫県職員を経て2008年4月より現職。1990年代初頭にアメリカ・ワシントン州政府で研修中に初めて“NPO”という存在を知り、その後大学院で非営利組織を研究する機会を持ち、阪神・淡路大震災での多くのNPO・ボランティアの皆さんと出会ったことから本格的な研究を志す。 前職では地域保健、消費生活、芸術文化、福祉のまちづくり、男女共同参画、里山公園づくり、地域活動支援などの業務を担当

## 第2講座

日時	2月2日(土) 9:30~11:50
場所	城町庁舎
テーマ	地域を見つめて、マネジメントの力をつける。
目的	地域資源の発掘と課題に対する考え方のポイントを学ぶ。
内容	①講演 ②グループワーク 他の団体などの特徴、長所や短所を知り、自分たちの特徴を伝え、協働することでクリアできる課題解決のポイントなどを発見する。
講師	福山市立大学 都市経営学部 教授 前山 総一郎(まえやま そういちろう) ----- 米国のワシントン大学在籍以来、市民の考えを社会に直接実現させることの大切さを痛感。そこからコミュニティプランニングと市民直接立法の研究に力を入れるとともに、実践でも多くの自治体のアドバイザーをおこない、特に日本発の「市民の手での市の憲法(自治基本条例)」策定に打ち込んできた。

### 第3講座

日時	2月16日(土) 9:30~11:50
場所	城町庁舎
テーマ	資金調達の方法・助成金の申請・活動継続のポイント(人・物・金)
目的	活動を継続していくために必要なポイントについて学ぶ。
内容	①講演 ②グループワーク 助成金の申請について、申請書を使って書き方やノウハウを学ぶ。
講師	特定非営利法人 ひろしまNPOセンター センター長 中村 隆行(なかむら たかゆき) ----- 1992年より全国の有志らによる、市民活動促進法制定(現在のNPO法)の運動に関わり、広島県内の有志とともに「ひろしまNPOセンター」を1997年に立ち上げる。NPO立ち上げ支援や運営、資金調達の相談に対応。 多くのNPOに関わってきた。行政とNPOの協働推進の指針づくりや、地域福祉計画策定など県内の自治体の政策に関わる。

### 第4講座

日時	3月 日( ) 終日
場所	ゆめきやりあセンター(仮)
テーマ	市民活動団体が年間活動報告を行い、他団体の活動からノウハウを学ぶ。
目的	団体間の情報交換や仲間づくりを目的とする。
内容	①市民提案型協働事業発表会 ②みはらし環境会議情報交流会 ③市民協働のまちづくり アドバイス講座
講師	未定 -----